

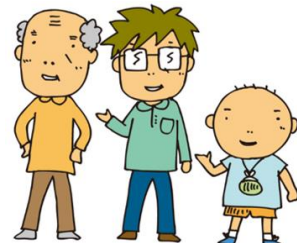
1月号では、「家庭でできる親と子の『お金教育』について、ご紹介しました。今月は、「お金と生活の知恵～次世代に向けて～」について、ご紹介します。



### お金と生活の知恵～次世代に向けて～

#### ◆次世代への金融教育

子や孫など、次世代の人たちに対して、今後の人生の基盤となること（例えば、ものやお金の大切さの理解、働くことの意義、周囲の人への感謝、お金には限りがありその範囲内で家計管理を行うことが重要であることなど）を、家庭において、ご家族の方がご自身の経験を踏まえて教えていただくことが、子や孫の今後の人生にとって大きな財産になります。



学校でもお金と生活の基本を学ぶようになってきていますが、日常生活での実践が最も重要です。小遣いの一定割合、お年玉や祖父母からの臨時収入を、貯蓄に回す習慣をつけましょう。

「余ったら貯蓄」ではなく、初めから、小遣いの10%、お年玉は80%を貯蓄すると決めるなど、天引き貯金の習慣をつけましょう。

子どもの貯金は、子どもが本当に欲しいもの、やりたいことのための夢貯金です。子どもは、本当に欲しいものを買うという夢のために、日々の欲望のコントロールを覚えていきます。コツコツと努力を続けて目標額に達し、本当に欲しいものを手にしたとき、子どもの心は大きく喜びに震えることでしょう。

天引き貯金の習慣がつけば、大人になっても収入の一部を貯めることができ、憧れのマイホームなど、欲しいものを手に入れる力がつきます。なるべく早い時期から習慣づけていきましょう。



#### ◆子どもの口座を作ってみましょう

銀行や郵便局に子どもと一緒に連れて行って、子どもの口座を作ってみましょう。そして毎月、子どもと一緒に貯金しましょう。子どもの知らぬ間に親が貯金するのではなく、子どもに貯金していることを実感させることが大切です。

銀行や郵便局に足しげく通えば、自然と投資信託、保険、そのほかのサービスのチラシを目にします。ほとんど理解できなくても、パンフレットを眺め、金融用語に慣れ親しんでいると、大人になって必要になったときに、ふと思い出すのです。